

編集 後記

編集後記の作成とお盆の時期が重なりました。大学の教室からは、長崎の精霊流しにつきものの爆竹の弾ける音と、故人を偲ぶカンカンという鐘の音が聞こえています。ようやく今年の夏も盛りが過ぎ、しのぎやすい季節のおとずれが待ちわびられます。

さて本号では総説1編、原著2編が掲載されています。総説は、風力騒音の健康影響に関する疫学文献レビューです。健康影響の指標「騒音によるうるささ」は、騒音曝露による心理的影響なのか、風力発電施設建設に対するそれなのかが明確に区別できていない等、さらなる研究の必要性を示していただきました。原著1編目は、健幸ポイントプロジェクトのデータを利用し、インセンティブ付与が当プロジェクトの継続率に影響するかを検証されています。健康増進事業の担当者は、つねに参加者の脱落予防に苦慮されていることと思います。その解決に向けた大きなアイデアが得られる論文です。原著2編目は、飲食店での受動喫煙に関する意識についての論文です。喫煙者の喫煙意思は、非喫煙者からの意思表示や、灰皿の配置など店内環境に影響されることが示されました。その一方で、非喫煙者はトラブルを懸念して意思表示できない者も少なくないことが示されました。東京オリンピックに向けて迷走している受動喫煙対策ですが、飲食店における明確な禁煙ルールづくりが不可欠です。

自治体や地域団体等における公衆衛生活動は、総説や原著論文で示された科学的な知見をもとに新たな一歩を踏み出すものも多いと思います。これらの活動は、さらに工夫を重ねることで、他団体の参考となる固有の活動へと発展する可能性を含んでいます。原著論文から公衆衛生活動報告へといった良循環がいくつも形成されることを心から期待しております。 (福田英輝)

次号予告 (第64巻・第9号)

原著

東日本大震災の避難所における食事提供体制と食事内容に関する研究……………原田萌香, 他

資料

地域ケア会議を想定した多職種による仮想事例検討会での住まいの見取り図活用効果……………工藤恵子, 他
 幼児を持つ母親の食のリスクの考え方, 知識, 意識および行動……………田中恵子, 他